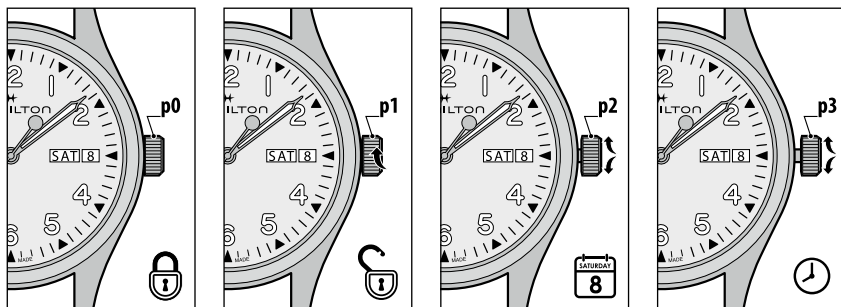




## 取扱説明書 自動巻きまたは手巻き時計

このたびはハミルトンをお選びいただき、誠にありがとうございます。お客様が手にされたのは、長年にわたり信頼してご使用いただける、小さな技術の結晶です。この時計は、最先端の技術を駆使して製造され、販売に至るまでに厳格な品質検査を経ております。



### リューズの位置

- p0** リューズがねじ込まれた状態 \*
- p1** リューズが押し込まれ / 手動で巻き上げ可能（リューズのネジが緩んでいる状態）
- p2** 日付および曜日の調整 \*
- p3** 時刻の調整

注意：リューズを P3 位置に引き出すと秒針が停止します。

\* モデルによる

### 調整

**備考：**特定のモデルにはねじ込み式リューズが採用されています。調整を行うには、ねじ込み式リューズを緩める必要があります。時計の防水性を保つため、調整後は必ずリューズを元の位置 p1 に戻してください（ねじ込み式リューズは p0 に戻してください）。

**△** 午後 8 時～午前 2 時を表示している間は日付および曜日の調節を行わないでください。

### 日付および曜日の調整 \*

1. リューズを位置 **p2** まで引き出します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して日付または曜日を調整します。
3. リューズを元の位置に押し戻します。

\* モデルによる

### 時刻の調整

1. リューズを位置 **p3** まで完全に引き出します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して時刻を調整します。
3. リューズを元の位置に押し戻します。

### 特殊調整：自動巻き GMT

#### キャリバー 2893-1・2893-2

日付および第二時間帯または 24 時間針（モデルによる）の設定

1. リューズをポジション **p2** まで引き出します。
2. リューズを反時計回りに回転させて日付を設定し、次に時計回りに回転させて第二時間帯または 24 時間針を設定します。
3. リューズを元の位置に押し戻します。

#### キャリバー H-14

キャリバー GMT «H-14» については特殊な調整手順を実施する必要があります。GMT タイム（24 時間）、日付および現地時刻（12 時間）を同期させるため、下記の手順に従ってください。

1. リューズを位置 **p3** に引き出します。秒針が停止します。
2. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して GMT タイムの時針と分針を調整します。
3. リューズを位置 **p2** に押し戻します。秒針が再び動き始めます。
4. リューズを時計回りまたは反時計回りに回して日付と現地時刻を調整します（時針のみが動きます）。
5. リューズを元の位置に押し戻します。



## 取扱説明書 自動巻きまたは手巻き時計

### 手動巻き上げについて 時計を巻き上げるタイミング

手巻きでも自動巻きでも、次の場合には時計を巻き上げる必要があります：

- ・ 箱から取り出したばかりの新品の時計の場合。
- ・ 時計を 48 時間以上着用していなかった場合。
- ・ 時計が完全に停止した場合。

### 巻き上げ方法について

#### 手巻きムーブメント

1. リューズが位置 **p1** にあることを確認します。
2. リューズを約 50 ～ 60 回、時計回りに回してゼンマイを完全に巻き上げます（これは工場出荷時のパワーリザーブ設定に相当します）。
3. ムーブメントが完全に巻き上げられると、リューズは自然に回らなくなります\*。
4. それ以上リューズを無理に回さないでください。リューズが回らなくなるということは、ゼンマイが完全に巻き上がっていることを示します。それ以上リューズを無理に回すと、ゼンマイを損傷するおそれがあります\*。

\* キャリバー H-23 はこの限りではありません

#### 自動巻きムーブメント

自動巻きモデルも手動で巻き上げることができます：

1. リューズを位置 **p1** にし、50 ～ 60 回、時計回りに回してゼンマイが完全に巻き上がります。
2. 手巻きモデルとは異なり、ゼンマイが全巻きになっても、巻き止まりがないため巻き上げ過ぎの心配がありません。

### 操作のコツと注意事項

- ・ 毎日巻き上げを行うことにより、一定のパワーリザーブと優れた精度が保証されます。
- ・ 時計が完全に停止している場合は、時計を着用する前に手で巻き上げると、ムーブメントを始動させることができます。
- ・ 巻き上げ時にわずかに抵抗を感じたら、それ以上無理にリューズを回さないでください。

### メンテナンスについて

あらゆる精密機器と同様、ハミルトンの時計も最適な性能と耐用年数を確保するため、定期的にメンテナンスを行う必要があります。メンテナンスの頻度はモデルや気候条件、そしてお客様による時計の手入れの度合いにより異なります。したがって、正確なメンテナンスの頻度を定義することはできません。適切なサービスを受けるためには、ハミルトン公認のサービスセンターまたはハミルトン正規販売店にご依頼ください。

### 防水性について

ハミルトンでは、出荷前の最終品質検査の際に、ケースの裏蓋に刻印された防水レベルを満たしているかのテストを行っていますが、時計の防水性能は恒久的なものではありません。時間の経過とともに、ガスケット（ケース裏蓋、リューズ、ガラスなどの隙間に使われるパッキン）の自然な経年劣化やケースへの偶発的な衝撃により、時計の防水性能が損なわれることがあります。さらに、汗や塩素水、塩水、紫外線、化粧品などの外的影響により、長い年月の間に密閉性が弱まる場合があります。

したがって、時計が塩素水や塩水に触れた場合は、必ず真水ですすぎ、乾いた柔らかい布で拭き取って乾かしてください。ハミルトン公認サービスセンターで 1 年に 1 回、防水性の検査を受けることをお勧めします。

ねじ込み式リューズが採用されているモデルの場合は、リューズが位置 **p1** にしっかり押し戻され、位置 **p0** に適切にねじ込まれていることを確認し、時計内部に水分が侵入しないようにしてください。

⚠ 水中ではリューズおよびプッシュボタンを操作しないでください。

### 自動巻き - ダイアルのレイアウト & キャリバー



H-10 / H-10-S / H-20-S /  
2824-2 / C26.101



H-10 / 2824-2 / 2671 /  
2681



H-30 / 2836-2 / H-40 /  
2834-2



H-32 / 2895-2 / A07.511



H-14 / 2893-1 / 2893-2



H-30 / 2836-2 / H-40 /  
2834-2



H-30 / 2836-2



2893-1 / 2893-2



H-12



H-13



H-22



2826



2897

### 手巻き - ダイアルのレイアウト & キャリバー



H-50 / 2804-2



H-50 / 2804-2



6497-1 / 6498-1



H-23